

2011年度第6回執行理事会議事録

期　日：2011年12月13日(土) 10:00～12:00

場　所：総評会館 402会議室

出席者：宮下会長 久田副会長 藤本常務理事 斎藤副常務理事 石渡 井龍 中井 坂口
高木 内藤 平田 藤林 星 竹内(理事会議長) 各理事、(事務局)橋辺

欠席者(委任状提出あり)： 渡部副会長 小嶋 西 向山 山口 各理事

*定足数(12, 委任状含む)に対し、出席者13名、委任状5名、合計18名の出席。

*前回議事録の承認

* 資料は、理事会との共通です。

I 審議事項

1. 2012年度の事業計画基本方針について【審議資料④ 参照】

会長以下で検討した事業計画方針案について、文言の修正等(指導要領改訂→新指導要領実施)をして理事会に提案することとした。

ロンドン地質学会が2014年出版で日本の地質の紹介本を出すことになったので協力していく。
く. 英語圏で読んでもらうので、やむを得ないところ。

2. 理事会推薦監事候補者について

現任の山本正司氏の内諾を得たので、理事会に提案する。

3. 理事会議案の検討と確認 【審議資料 参照】

技術者教育委員会の新設提案に際し、JABEE、技術者継続教育委員会のこれまでの活動の総括をしてほしい。

4. 理事会の議事進行の検討 【理事会議事次第 参照】

5. その他

・各賞についての問題点は現時点では特にないが、推薦者数の不足などは依然としてあるので、積極的に周知、案内をしていく。

・今回は理事会の出席者が少なく成立が危ぶまれた。特に12月の場合には理事会の開催日程を考える必要があるのではないか。理事会の開催は定款で3回以上と決められているが、審議内容のタイミングなども考慮して、現状の各回の開催時期全体を見直す必要があるとして、今後検討することとなった。

II 報告事項

(1) 運営財政部会：総務委員会

<共催・後援依頼、他団体の募集等>

1. 産総研地質調査総合センターから、「第1回アジア太平洋大規模地震・火山噴火リスク対策ワークショップ」(2012/2/22-2/25, つくば)の後援依頼があり、承諾した。

<その他>

1. 日本地球惑星連合が再申請後3カ月で公益社団法人の承認を受けた(12/1付)

11/13 の学協会長会議でも、学協会は公益法人に比較的なりやすいという話があった(久田)学会は承認されやすくなつたが、公益法人としての制約および事務的なことには手間がかかる。

2. 第9回高校生科学技術チャレンジ J S E C2011 の最終審査会・表彰式(12/03)の案内があつたが、理事会と日程が重なつており、地学教育委員からも都合がつかず欠席とした。

矢島理事は審査委員として参加。

<会員>

1. 今月の入会者(3名)

正会員(3名) 大平哲世 名内理恵 松浦康隆(院割)

2. 今月の退会者・逝去者 なし

3. 11月末日会員数

賛助: 26 名誉: 72 正会員: 4050(正会員: 3856, 院割正会員: 182, 学部割正会員: 12) 合計 4148(昨年比 -98)

4. 2011年度末(2012/03)の退会予定者(35名), 除籍予定者(75名)の一覧を回覧。

5. 2011年版会員名簿: 12月中の発行を予定し校正中

名簿に掲載する規則類の軽微な修正については、理事会の承認を受けて掲載する。

<会計>

1. 水戸大会の2学会の収支の詰めと調整については、今年中に両学会の担当者で行う予定。

2. 地学情報サービス解散に伴う地質図残部の原価引き取りについては、先の執行理事会で了承されたので同社の11月末での事業整理に合わせて支払いをした。なお、残部については11月中に販売促進のセールが好評であったので、引き続き第2弾のセールをおこない、代金の回収に努める。

(2) 広報部会: 広報委員会(坂口)

・会員から募集したサイエンスライターについて、最終的には以下の方々にお願いすることと

なつた。地学オリンピック支援委員会ならびに広報委員会から一部の委員が加わり、活動を開始した。

会員: 遠藤大介・川端訓代・北村有迅・笹沢教一・正木裕香

非会員: 岡山悠子(日本科学未来館))

・支部、専門部会のSNSシステムは本番サイトへの移行後、現在最終調整中。

(3) 学術研究部会: 行事委員会(星)

・行事委員会の組織、大阪大会 ほか【報告資料② 参照】

・大阪大会のシンポジウム(一般公開)について、12/4開催の近畿支部の総会で議論される予定。大阪の地下構造と内陸地震に関するシンポジウムは支部主体で行い、アウトリーチ・教育やジオパーク関連等のシンポジウムは、学会主導で企画してほしいという意向が近畿支部から出されている。

・年会の支部回り持ちについて各支部の意見を聴取した。東北支部から提案があつたため、理事会で議論する。

(4) 学術研究部会: 国際交流委員会(石渡)

・アイランドアーク賞の選考が進んでいるところ。

(5) 編集出版部会: 地質学雑誌編集委員会 (小嶋編集委員長)

(6) 編集出版部会：アイランドアーク編集委員会（井龍編集委員長）

編集状況の報告【報告資料⑤ 参照】

- vol. 20, no. 3 で本来カラー印刷すべきピクトリアルがモノクロとなった、ピクトリアルのインデックスマップの引用がなかった等の問題点があった。今年は 825p の予定が 558p になり、予定より 267p 少なかつた。招待論文が vol. 21, no. 1 に初めて掲載される。

(7) 企画出版委員会（山口）

- 城ヶ島のパンフレットが残り 200～300 部になつたので、3000 部増刷する。この際必要な修正は行う。

(8) 社会貢献部会（藤林・中井・平田）

- フォトコンテストの表彰式は代議員総会の前に北とぴあで行う。フォトコンテストの展示は千葉県立中央博物館と共に、同館を会場に約 1 か月間行う。
- 応用地質学会と共に「地質の日」事業として、都内で市民向け屋外探検を企画し、そのルートを選定中。
- 世田谷の看板の誤りの検討については滞っており、これから修正を助言していく予定。
- 教員の採用状況をニュース誌に掲載する予定。少し増加傾向はある模様。

(9) ジオパーク支援委員会（高木）

ジオパークの現況について、理事会に報告する。

(10) オリンピック支援委員会

12/18 に来年に向けての筆記試験が行われる。924 名が申し込んでいる。本戦への参加資格がない中 1-2 生が 40 名ほどおり、この層をもり立てていくための賞等が必要であろう。

(11) 震災復興事業プラン検討 WG（高木・向山・藤本・斎藤）

前回の理事会以降に採択された 2 件と、その後の研究状況を理事会に報告する

(12) 連携事業委員会（渡部）

(13) 地質災害委員会（斎藤）

- 台風 12 号による地盤災害合同現地調査団から報告書が出版された。
- 合同調査団に参加した会員の実費経費（宿泊代）として 5 万程度の支出があるが、総務部会と相談して負担することとした。来年度は災害時の予算を盛るとともに、支出のルールをつくっておくこととした。
- 野外調査の安全指針の修正確認【報告資料④-4 参照】

前回の理事会において承認されているが、指摘のあった点を修正したので、理事会に報告する。

(14) 行動規範について（藤本）【報告資料④-1 参照】

前回の理事会において承認されているが、会員名簿等で公表するため、前文の追加、一部文言の修正を行つたので理事会に報告し確定とする。